

令和 6 年度  
いの町消防団夏用活動服仕様書  
(6 い総物第 1 号)

いの町

## 1 目 的

この仕様書は、いの町が令和6年度に購入するいの町消防団夏用活動服について必要な事項を定める。

## 2 基本事項

- (1) 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額の通りとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 納入する商品は全て新規製品であること。
- (3) 消防団員服制基準（昭和25年2月4日国家公安委員会告示第1号。平成26年2月消防庁告示第1号最終改正。）に準じ、強度、帯電・静電防止等の機能性を有するものとする。また、使用する材料、付属品は、十分に検査が施され、優秀な製品に仕上がった物であること。
- (4) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ、ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (5) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。また、仕様書に記載なき事項については、町担当者と協議することとし、受注者の一方的な解釈で処理してはならない。
- (6) プリント等表示類の詳細については、担当者と適宜協議の上、進行すること。
- (7) 落札者は、納品する現物（文字無可）を採寸用として全てのサイズを男性用、女性用と提出し、発注者の承認を受けること。また、サイズ表も併せて提出すること。
- (8) 被服の採寸については、発注者側において行うものとする。  
なお、採寸結果に応じ、規定が無いサイズにおいても対応可能であること。  
その他、詳細については、発注者の指示に従うこと。
- (9) 製品の納入に際しては、1着ごとにビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、分団・部ごとにまとめて納品すること。
- (10) 入札後、同年度内に追加発注のあった場合は同一価格で納入できること。
- (11) 検収後であっても、生地、付属品及び寸法等縫製上の欠陥等が認められた場合、受注者の責任とし、速やかに無償で修理又は交換すること。
- (12) 本仕様書に疑義を生じた場合は、町担当者と協議することとし、受注者の一方的な解釈で処理してはならない。また、本仕様書に記載の無い事項でも仕様上、機能上及び製作上当然必要と思われる事項については、これを含むものとする。

### 3 数量及び仕様等

数量及び仕様等は以下のとおりとする。なお、服サイズ及び下記に記されていない項目については入札後、別途調整する。

### 4 数量

87着

### 5 型式

#### (1) 上 衣

体型を追求し着用感を重視した立体裁断を用いての縫製とする。台衿付きシャツカラー、前後身頃および袖部配色切替、前比翼ファスナー仕立て、両胸フラップ付きアウトポケット（面ファスナー止め）、左袖ペンポケット、袖口ファスナー仕立て、肩章（釦止め）、左胸雨蓋にはペン差しを開け中には手帳吊紐を挟み込む。背ヨーク部分に指定ロゴ反射プリントを入れる。既存階級章及びネームワッペンを現在と同位置に取り付けるためのマジックテープ（メス）を取り付ける。

#### (2) ズボン

長ズボン・ワンタック・アジャスター・前身両脇箱ポケット・後身両ピスポケット左側雨蓋付きボタン止め。左右カーゴポケットはフラップ付き・アコーディオン式。カーゴポケットフラップは配色生地。現在使用しているナイロンベルトが使用できる構造であること。

### 6 生地材料

#### (1) 生 地

使用生地については、帯電防止、抗菌防臭、ストレッチの機能を有した素材を使用し、年間を通じ着用できるものであること。

※ストレッチ性能必須だが、経年劣化＝脆化の原因となるポリウレタンを用いない処方とする。

#### (2) 色相

主生地はブルー、配色生地はオレンジを基調とする。

#### (3) 混紡率

以下に混紡率を例示するが、下記に依らない同等品以上の品でも可とする。

再生ポリエステル：80%（±5%）

レ　ー　ヨ　ン：20%（±5%）

※色落ちを避けるため、綿混の素材は不可とする。

## 7 縫製要領

### (1) 基本事項

(2) 及び (3) に縫製要領を示すこととする。

### (2) 上衣

#### ①主衿

テترون芯を入れ、衿巾は中央で約 8.0cm (衿巾台 約 3.5cm) 衿先巾約 8.0cm とする。

#### ②衿吊り

衿吊りは、所定のものを衿付け中央にはさみ縫い付けとする。

#### ③身頃

前身はバストラインで縫い合わせ、バストライン下の上部分オレンジ配色で下部分本体生地とする。後見はヨーク切り替えとし、ヨーク下の上部分はオレンジ配色で下部分は本体生地とする。

#### ④胸ポケット

胸ポケットは左右 2 ヶで雨蓋付きとし、雨蓋中央に約 2.5cm×5.0cm のマジックテープを取り付ける。左雨蓋前立て寄りに手帳吊りループを設ける。口巾約 14.5 cm 深さ中心側 約 16 cm と、SW認可同様、底辺約 3cm 上がりで配色生地・主生地を切り替える。

#### ⑤前立て

前立ては約 3.5cm 幅でファスナー合わせとし、約 1.6cm×4.0cm のマジックテープを 3 か所に取り付ける。

#### ⑥肩縫

片倒しインターロックミシン縫いとする。

#### ⑦脇身頃

2 枚ハギで中胴の位置で地縫いし、インターロックミシン縫い約 0.6 cm の飾りステッチをかける。

#### ⑧袖縫

袖は 3 枚ハギとしインターロックミシン縫いとし約 0.6 cm の飾りステッチをかける。

脇ぐり袖に関し、SW認可同様、液体物・異物の侵入安全上ベンチレーションは設けない。また脇線縫いのアームホール付け袖は運動性能上立体とみなさない。

#### ⑨袖付縫

インターロックミシン縫いとする。

#### ⑩長袖口

開き止まり部分よりカフス付け根までの水かき式としカフスは約 6 cm とする。カフス廻りは表一条飾りミシン縫いとする。

#### ⑪片布

下前見頃裏に縫い付ける。

#### ⑫品質表示

左脇裏に挟み込む。

#### ⑬サイズネーム

衿吊り横にはさみ縫付けとする。

⑭階級章台・名札台

右前身頃雨蓋付根中央上部に、タテ約 3.0cm、ヨコ約 4.5cm のマジックテープ（メス）を四方縫いし、名札台は左前身頃雨蓋付根中央上部に、タテ約 3.5cm、ヨコ約 7.0cm のマジックテープ（メス）を四方縫いする。

⑮肩章

幅は 約 4.5cm とし、端を袖つけの縫い目に縫い込む。

⑯ペン差し

左袖上部配色部に 2 本差しのペン差しを取り付ける。

⑰背文字

背ヨーク上部に丸ゴシック体で『KOCHI』『いの町消防団』と白色で 2 段に分け、反射プリントを施す。（詳細は別途協議とする）

⑱裾折返し

裾は三ッ折とする。

（３）ズボン

①ワンタック、アジャスター仕様とする。（ゴムアジャスター仕様不可）

②腰帯

前帯端に前カンを取り付け、帯幅 4.0 cm 仕上り寸法とし、織物芯地をいれる。裏はスベリ止め付マーベルト仕様とする。

③バンド通し

後ろ中央に巾約 6.0 c m、前後、脇に巾約 3.0 c m、長さ約 6.5 c m のループを 7 本取り付ける。

④脇箱ポケット

箱型 2 方マチポケットとし口巾 17.0cm 以上深さ 20.0cm、上部に雨蓋を取り付ける。ポケットとは約 2.5cmx7.0cm のマジック止めとする。雨蓋裏表はオレンジ配色とする。

⑤尻ポケット

左右ピスポケットとし、左側ポケットは雨蓋付きボタン止めとする。

⑥天狗

持ち出し天狗に鳩目穴を一箇所開け、廻り表一条飾りミシン縫いとする。

⑦相引き、内また、尻縫い

断目はオーバーロック掛けし、二重縫い、又は環縫いミシン掛け、割り縫いとする。股下前後に菱形のマチ（ストレッチ地の目）を地縫いし、ステッチを掛ける。（※パンク防止必須）

⑧裾

裾は約 9 0 c m のフリー仕上げとする。（裾上げテープ付）

⑨片 布

左後ポケット袋布に縫い付ける。

⑩穴かがり

機械穴、鳩目穴とする。

(4) 女性

下記の絵図面に倣い、（公益財団法人）日本ユニフォームセンター監修の人間工学に基づくデザインを採用し、女性のボディーラインに沿った縫製をする。

8 納入期限

令和7年2月28日とする。

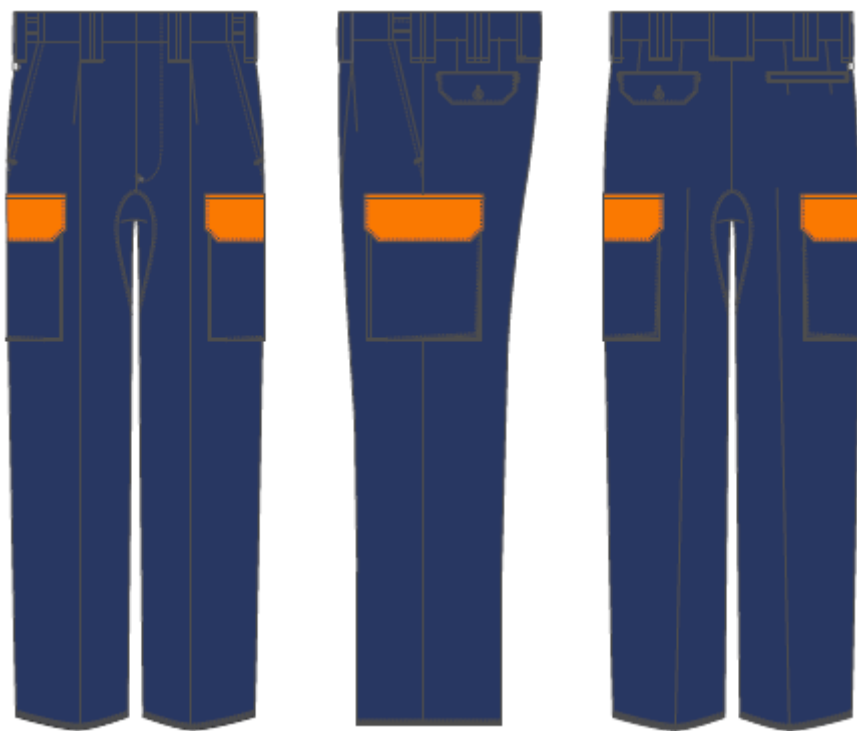
9 納入場所

高知県吾川郡いの町西町1番地とする。

## 10 参考図

【男性】







【女性】



